

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

天籟寺保育所

第三者評価事業に参加するに当たり、児童福祉施設等評価基準(保育所編)に基づき、室内外の環境、マニュアルや記録など、改めて見直しをしていきました。その中で、職員間で共有できたことや学びが多くありました。

日頃、当然のように行っている安全への配慮や具体的な子どもへの言葉のかけ方などを保護者に伝えることは、保育の可視化であり、育児支援にも繋がります。今後は、「伝える保育」から「伝わる保育」へさらに分かりやすく子育ての方法を保護者と共有できるよう取り組みたいと思います。

また、日常の記録が何故必要なのかを職員が意識することで、記録の仕方も変わってきます。文字で埋めるのではなく、分かりやすい簡潔な記録方法を今後、さらに研究したいです。

職員同士で意見を出し合い、達成感を味わうこともできました。監査とは違い、自分たちの努力や工夫が目に見える第三者評価事業は、職員が生き生きと働きやすい職場をつくることで、子どもにとっての「最もふさわしい生活の場」になることを教えてくれました。

参加させていただき、ありがとうございました。